

# 和寒町森林整備計画

自 平成25年 4月 1日

至 平成35年 3月31日

(平成29年3月29日変更)

北 海 道

和 寒 町

# 目 次

	ページ
<b>I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項</b> . . . . .	<b>1</b>
1 森林整備の現状と課題 . . . . .	1
2 森林整備の基本方針 . . . . .	1
3 森林施業の合理化に関する基本方針 . . . . .	3
<b>II 森林の整備に関する事項</b> . . . . .	<b>3</b>
<b>第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）</b> . . . . .	<b>3</b>
1 樹種別の立木の標準伐期齢 . . . . .	3
2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法 . . . . .	4
3 その他必要な事項 . . . . .	4
<b>第2 造林に関する事項</b> . . . . .	<b>5</b>
1 人工造林に関する事項 . . . . .	5
2 天然更新に関する事項 . . . . .	7
3 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在 . . . . .	8
4 森林法第10条の9第4項の伐採の中止又は命令の基準 . . . . .	8
5 その他必要な事項 . . . . .	8
<b>第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準</b> . . . . .	<b>9</b>
1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法 . . . . .	9
2 保育の作業種別の標準的な方法 . . . . .	9
3 その他必要な事項 . . . . .	10
<b>第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項</b> . . . . .	<b>10</b>
1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域における森林施業の方法 . . . . .	10
2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域における森林整備の方法 . . . . .	11
3 その他必要な事項 . . . . .	12
<b>第5 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項</b> . . . . .	<b>12</b>
1 路網の整備に関する事項 . . . . .	12
2 その他必要な事項 . . . . .	14
<b>第6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項</b> . . . . .	<b>14</b>
1 森林の経営の受委託等による森林の経営規模の拡大に関する方針 . . . . .	14
2 森林の施業又は経営の受委託等による規模拡大を促進するための方策 . . . . .	15
3 森林の施業又は経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項 . . . . .	15
4 その他必要な事項 . . . . .	15

<b>第7</b>	<b>森林施業の共同化の促進に関する事項</b>	<b>15</b>
1	森林施業の共同化の促進方向	15
2	施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策	15
3	共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項	16
4	その他必要な事項	16
<b>第8</b>	<b>その他森林整備の方法に関し必要な事項</b>	<b>16</b>
1	林業に従事する者の養成及び確保に関する事項	16
2	森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項	17
3	林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針	17
4	その他必要な事項	17
<b>III</b>	<b>森林の保護に関する事項</b>	<b>17</b>
<b>第1</b>	<b>鳥獣害の防止に関する事項</b>	<b>17</b>
1	鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法	17
2	その他必要な事項	18
<b>第2</b>	<b>森林病虫害の駆除又は予防、火災の予防その他森林の保護に関する事項</b>	<b>18</b>
1	森林病虫害の駆除又は予防の方法等	18
2	鳥獣による森林被害対策の方法	18
3	林野火災の予防の方法	19
4	森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項	19
5	その他必要な事項	19
<b>IV</b>	<b>森林の保健機能の増進に関する事項</b>	<b>19</b>
<b>V</b>	<b>その他森林の整備のために必要な事項</b>	<b>19</b>
1	森林経営計画の作成に関する事項	19
2	森林の整備を通じた地域振興に関する事項	19
3	住民参加による森林の整備に関する事項	20
4	その他必要な事項	20
<b>別表 1</b>	<b>植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在</b>	<b>23</b>
<b>別表 2</b>	<b>公益的機能別施業森林及び木材等生産機能の維持増進を図る森林の区域</b>	<b>25</b>
<b>別表 3</b>	<b>森林施業の方法を特定すべき森林の区域</b>	<b>28</b>
<b>別表 4</b>	<b>鳥獣害防止森林区域</b>	<b>31</b>
<b>参考資料</b>		
	計画期間内において間伐を実施する必要があると認められる森林の所在	32

# I 伐採、造林、保育その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

## 1 森林整備の現状と課題

本町は、北海道中央部の北部に位置し、石狩川と天塩川の分水嶺「塩狩峠」の麓に広がる自然の恵み豊かな町で、東、南、西の三方は比較的低い山と丘陵が起伏していますが、中央部は大体平坦で、北に向い剣淵川が天塩川に合流するため平坦で開かれています。

本町の総面積は22,483haであり、森林面積は14,502haと森林に恵まれており、総面積の65%を占めています。民有林面積は6,622haで、その内訳は町有林が1,051ha、私有林が5,571haとなっています。そのうちカラマツ及びトドマツを主体とした人工林の面積は3,119haであり、人工林率47%となっています。

近年、自然災害による被害が深刻化しており、森林の持つ多面的な機能の重要性が認識され、山地災害防止機能の高い森林整備が求められています。地域の実情に応じ適確な施業を実施するため、適切な保育・間伐等を促進し、長伐期施業や複層林施業による多様な森林への誘導が必要です。

## 2 森林整備の基本方針

### (1) 地域の目指す森林資源の姿

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化も考慮しつつ、適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により、健全な森林資源の維持増進を推進することとします。

このため、森林を地域の特性、森林資源の状況並びに森林に関する自然的条件及び社会的要請を総合的に勘案し、それぞれの森林が特に発揮することを期待されている機能に応じて森林の有する公益的機能の維持増進を図るべき森林としての公益的機能別施業森林と木材等生産機能を重視すべき公益的機能別施業森林以外の区域に存する森林（以下「木材等生産林」という。）に区別するとともに、公益的機能別施業森林については、水源涵養機能の維持増進を図る森林について「水源涵養林」、山地災害防止や土壤保全機能の維持増進を図る森林について「山地災害防止林」、住民にとって快適な環境を形成する機能の維持増進を図る森林について「生活環境保全林」、保健・レクリエーションや文化機能の維持増進を図る森林について「保健・文化機能等維持林」の区域（以下「森林の区域」という）を設定します。

この森林の区域に応じた望ましい森林の姿へ誘導するため、育成単層林における適切な更新や保育及び間伐の積極的な推進、天然生林的確な保全及び管理等に加え、保安林制度の適切な運用、山地災害や野生鳥獣被害等の防止対策の推進等により、重視すべき機能に応じた多様な森林の整備及び保全を図ることとします。

また、林道等の林内路網は、効率的な森林施業や森林の適正な管理経営に必要不可欠であることから、計画的な路網整備を推進することとします。

なお、ゾーンごとの望ましい森林の姿並びに森林の整備及び保全の基本方針は次表のとおりとします。

森林の区域ごとに目指す森林資源の姿

公益的機能別施業森林

重視すべき機能	森林の区域	目指す森林資源の姿	森林整備の基本的な考え方及び森林施業の推進方法
水源涵養機能	水源涵養林	下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林。	良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を行うとともに、伐採に伴う裸地面積の縮小及び分散を図る施業を推進する。
山地災害防止機能／土壌保全機能	山地災害防止林	下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設等が整備されている森林。	災害に強い地域環境を形成するために、地形、地質等の条件を考慮した上で、高齡級や天然力を活用した複層状態の森林への誘導、伐採に伴う裸地面積の縮小及び裸地化の回避を図ることとする。 また、保安林の指定及びその適切な管理を推進し、併せて、溪岸の浸食や山地の崩壊を防止する必要がある場合には、谷止めや土留等の施設の設置を推進する。
快適環境形成機能	生活環境保全林	樹高が高く枝葉が多く茂っているなど、遮へい能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林。	地域の快適な生活環境を保全する観点から、風、騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、生活環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、及び防風や景観の創出等生活環境の保全等に重要な役割を果たしている防風林等の保全を推進する。
保健・レクリエーション機能	保健・文化機能等維持林	身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林。	レクリエーション利用、文化活動を進める観点から、森林の構成を維持し、樹種の多様性を増進することを基本とし、それぞれの森林が求められる機能やあり方に応じ、保護及び適切な利用の組み合わせに留意して、適切な保育・間伐等や広葉樹の導入を図る施業を推進する。 保健・風致の保存等のための保安林の指定や、その適切な管理を推進するとともに、町民等にとって憩いと学びの場として期待される森林にあつては、立地条件や町民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなど多様な森林整備を推進する。

公益的機能別施業森林以外の森林

重視すべき機能	森林の区域	望ましい森林の姿	森林の整備及び保全の基本方針
木材等生産機能	木材等生産林	材木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され、成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。	木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、経級の材木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進する。また、施業の集団化や機械化を通じた効率的な整備についても併せて推進する。

## (2) 森林整備の基本的な考え方及び森林施業の推進方策

ア 山地災害防止機能をより高度に発揮させるため、急傾斜地や沢沿いの森林土壌が薄く表層崩壊が起りやすい箇所については、根系の発達を促し、下層植生が発達した良好な森林を育成するため、適切な保育・間伐等の促進に努めることとします。

また、長伐期施業や複層林施業による多様な森林への誘導や皆伐に伴う裸地面積の縮小及び分散を図るよう努めることとします。

イ 公益的機能が重視される森林で風害の受けやすい地域においては、風害に強い多様な樹種・樹冠層により形成される森林へ誘導するため、人工造林や天然更新（地表処理等）を適切に組み合わせ、樹種や林齢の異なる森林の構造を基本におき、植栽本数の低減や植栽時期の分散を図ることとします。

## 3 森林施業の合理化に関する基本方針

森林施業の合理化に当たっては、地域の関係者が連携し、森林施業や林業経営の合理化・効率化、地域のエネルギー資源としての森林バイオマス利用の可能性を含めた木材需要の動向と見通しなど、効率的な森林整備や安定的な木材供給を図る上での課題や目標等を明確にしつつ取り組むこととします。

## II 森林の整備に関する事項

### 第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

立木の伐採については、Iの2「森林整備及び保全の基本方針」を踏まえ、森林の有する多面的な機能の維持増進を図るため、気候、地形、土壌等の自然的条件、森林資源の造成、森林に対する社会的要素、施業制限の状況、木材の生産動向等に十分留意し行うこととします。

#### 1 樹種別の立木の標準伐期齢

本町における立木の標準伐期齢は、標準的な立地条件にある森林における平均成長量が最大となる林齢を基準とし、森林の有する公益的機能、平均伐採齢及び森林の構成を勘案して定めます。

	樹 種	林 齢
人 工 林	エゾマツ・アカエゾマツ	60
	トドマツ	40
	カラマツ（グイマツとの交配種を含む）	30
	その他針葉樹	40
	カンバ・ドロノキ・ハンノキ（天然林を含む）	30
	その他広葉樹	40
天 然 林	主として天然下種によって生立する針葉樹	60
	〃 広葉樹	80
	主としてぼう芽によって生立する広葉樹	25

## 2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

本町における立木の伐採方法等は次のとおり行うこととします。

(1) 立木竹の伐採のうち主伐については、更新を伴う伐採であり、その方法については皆伐又は択伐によることとします。

ア 皆伐については、主伐のうち（イ）の択伐以外のものとする。

皆伐に当たっては、気候、地形、土壌等の自然的条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一箇所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に考慮し、適確な更新を図ることとします。

また、一箇所当たりの伐採面積は、原則として20ヘクタールを超えないよう、伐採面積の縮小及び伐採箇所の分散並びに伐採時期の長期化に努めることとします。

伐採の時期については、地域の森林構成等を踏まえ、公益的機能の発揮との調和に配慮するものとします。

イ 択伐は、主伐のうち伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うこととし、原則として材積にかかる伐採率が30%以下（伐採後の造林が植栽による場合にあつては40%以下）とするよう努めることとします。

なお、択伐に当たっては、適切な伐採率により一定の立木材積を維持することとし、森林の有する多面的機能の維持増進が図られるよう、適切な林分構造とすることとします。

また、天然更新を前提とする場合は、現地の自然条件や更新を期待する樹種の特徴などを勘案し、母樹の保存、種子の結実や飛散状況、天然稚幼樹の生育状況等を勘案することとします。

(2) 主伐に当たっては、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に留意して行うこととし、伐採跡地が連続することがないように、伐採跡地間には少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保することとします。

また、伐採の対象とする立木については、標準伐期齢以上を目安として選定することとします。

(3) 伐採後の適確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新の方法を定め、その方法を勘案して伐採を行うこととします。特に伐採後の更新を天然更新とする場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実、飛散状況等を勘案して行うこととします。

なお、劣悪な自然条件により更新を確保するため伐採の方法を特定する必要がある森林では、択伐等適確な更新に配慮した伐採方法とします。

## 3 その他必要な事項

(1) 木材等生産林に関する留意事項

持続的、安定的な木材等の生産を図るため、資源の保持に配慮し、齢級構成に留意しながら、施業の集団化や機械化を通じた効率的な伐採に努めるものとします。

また、多様な木材需要に対応できるよう、長伐期施業を検討するものとします。

(2) その他伐採に関する留意事項

ア 林地の保全、雪崩・落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持などのために必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置することとします。

イ 次の地域は、林地崩壊、生態系の攪乱などにつながるおそれがあり、また、伐採後の更新が困難となることから、皆伐を行わないよう努めることとします。

A 健全な更新が困難な湿地・風衝地・岩石地等

B 土砂の流出や崩壊が発生するおそれがある急傾斜地・石礫地・沢沿い等

C 野生生物の生息・生育の場の提供、水質浄化、土砂や濁水の流入制御等の機能を持つ河川や湖沼周辺の水辺林等

ウ 伐採作業等に伴う立木への損傷は、将来的に腐朽菌被害の発生につながるおそれが高いことから、伐採等にあたっては、必要に応じて保護板（あて木）を設置するほか、機械の林内走行の範囲を森林作業道・集材路に限定するなどにより、伐採しない立木への損傷をできる限り減らす作業に努めることとします。

エ 伐採等の実施に当たっては、降雨等による土砂や汚濁水の流出防止に努めるとともに、伐採作業の途中であっても大雨が予想される場合等は、必要に応じて集材路等に排水路を作置するなど、浸食防止に努めることとします。

なお、水道取水施設の上流で造材を行う場合等で、降雨等により河川の汚濁が懸念される場合は、伐採・搬出を冬季間に行うなど時期や方法に配慮することとします。

また、特に河川周辺で造材を実施する場合は、増水時に枝条や残材等が流出して流木被害の一要因とならないよう、十分に留意することとします。

オ 高性能林業機械を積極的に導入し、効率的な作業を目指すとともに、労働安全に努めることとします。

カ 特色ある森林景観や野生生物の生息・生育環境の保存に配慮した伐採を行うこととします。

## 第2 造林に関する事項

### 1 人工造林に関する事項

森林の整備及び保全に関する基本方針及び森林施業の合理化に関する基本方針を踏まえ、適切な森林の施業方法より、人工造林を実施することとします。

また、効率的な森林施業を行うため、将来の保育コストを抑える観点から、高性能林業機械の導入を見据えた施業プランの下で人工造林を検討することとします。

造林については、森林整備及び保全の基本方針を踏まえ、適切な森林の施業方法により造林を実施することとします。

また、適地適木を基本とし、気候、地形、土壌などの自然的条件、森林資源の構成、森林に対する社会的要請、施業制限の有無、木材の利用状況等に十分留意し行うこととします。

#### (1) 人工造林の対象樹種

人工造林の対象樹種は、気候、地形、土壌等の自然条件への適応、それぞれの樹種の特質、既往の成林状況など適地適木を基本として、地域における造林種苗の需給動向及び木材利用状況等を勘案し、選定するものとします。

また、多様な森林の整備を図る観点から、広葉樹や郷土樹種を含め、幅広く樹種を検討することとします。特に、河畔沿いについては、河川の水質浄化や落葉等による有機物の供給などが期待できることから、積極的に広葉樹を選定することとします。

なお、山腹崩壊の危険性が高い急傾斜地や沢沿いについては、カツラやミズナラ等の深根性で根系の支持力が大きい樹種の植栽に考慮することとします。

育成複層林へ誘導する林分については、樹種の耐陰性や既往の成林状況、自然条件等を勘案し、造林樹種を選定することとします。

#### 【人工造林の対象樹種】

区分	樹種名	備考
人工造林の対象樹種	カラマツ（グイマツとの交配種を含む）、トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ、ヨーロッパトウヒ、ヤチダモ、カツラ、カンバ類、ドロノキ、ハンノキ、ミズナラ、カエデ科、その他郷土樹種	

なお、その他郷土樹種及び定められた樹種以外を植栽する場合は、林業普及指導員等と相談の上、適切な樹種を選択することに努めることとします。

(2) 人工造林の標準的な方法

ア 育成単層林を導入又は維持する森林

寒風害等の気象害及び病虫害等に考慮し、保護木・保護樹帯の配置、同一樹種の大面積造林の回避など、多様な森林の整備に配慮して行うこととし、適確な更新により裸地状態を早急に解消するため、気候、土壌等の自然条件に適合した樹種を早期に植栽するものとします。特に、水源涵養林、山地災害防止林にあっては、林地の安定化を目的とした無立木地への植栽を積極的に行うこととします。

地拵えは、それぞれの地域の地形、土壌、植生、気象条件及び過去の野鼠被害の状況等を考慮したうえで、全刈り又は条刈りにより行うこととします。

植栽時期は春又は秋植えとしますが、乾燥時期を避け、必要に応じて植え穴を大きくして植え付けるなど、その後の苗木の活着と成長が十分図られるように行うものとします。

植栽本数は、次表の主要樹種の植栽本数を基礎として、既往の植栽本数及び個々の樹種特性を勘案して仕立ての方法別に定めることとし、多様な森林の整備を図る観点から、様々な施業体系や生産目標を想定した植栽本数について検討するものとします。

植栽本数の検討に当たっては、周囲の人工林の生育状況、気象災害の発生状況等を勘案し、森林の有する多面的機能の高度発揮や植栽コストの低減を図ることを目的に本数の低減についても併せて検討するものとします。特に、初期成長が早く、通直性や耐鼠性が向上したグイマツ雑種F1等を植栽する場合は、植栽本数の低減に努めるものとします。植栽本数の低減に当たっては、将来の保育コストを抑える観点から、高性能林業機械の導入を見据えた植栽設計を検討するものとします。

また、周囲に樹冠が十分発達した母樹があり、天然更新も期待できる林分にあっては、天然更新木の積極的な活用による植栽本数の低減を検討することとします。

【植栽本数】

単位：本／ha

仕立ての方法	樹 種			
	カラマツ	トドマツ	その他針	広葉樹
密仕立て	2, 500	2, 500	2, 500	3, 000
中庸仕立て	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000
疎仕立て	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500

【植栽時期】

植栽時期	樹 種	植 栽 時 期
春 植	トドマツ、アカエゾマツ	4月初旬～6月上旬
	カラマツ、その他	4月初旬～5月下旬
秋 植	トドマツ、アカエゾマツ	9月上旬～11月上旬
	カラマツ、その他	9月下旬～11月中旬

イ 育成複層林を導入または維持する森林

下層木の成長に必要な照度を常に確保することとします。植栽により更新を確保する場合は、上層木の枝下部への植栽を避けることとし、植栽本数については、標準的な植栽本数に上層木の材積伐採率を乗じた本数以上を基本とすることとします。

(3) 伐採跡地の人工造林をすべき期間

皆伐による伐採跡地については、林地の荒廃を防止し、裸地状態を早急に解消するため、当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に人工造林を実施し、更新を図ることとします。

択伐による部分的な伐採跡地については、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内に人工造林を実施し、更新を図ることとします。

なお、天然更新による場合は2の(3)によることとします。

## 2 天然更新に関する事項

天然更新については、気候、地形、土壌等の自然的条件、林業技術体系等からみて、主として天然力を活用することにより適確な更新が図られる森林において行うこととします。

### (1) 天然更新の対象樹種

天然更新の対象樹種は、ぼう芽更新ではイタヤカエデ、ハルニレ、ミズナラなどとし天然下種更新ではカンパ類やドロノキ・ハンノキなどとします。

#### 【天然更新に関する事項】

区分	樹種名	備考
天然更新の対象樹種	イタヤカエデ、ハルニレ、ナラ類、ヤナギ科 カンパ類、ドロノキ、ハンノキ など	

### (2) 天然更新の標準的な方法

次のとおり、天然更新の標準的な方法に関する指針を示します。

#### ア 天然更新の完了の判断基準

第2の2(3)に定める天然更新をすべき期間内に、天然に発生した稚幼樹の生育が確実に見込める樹高成長があり、かつ、周辺の植生の草丈に一定程度の余裕高を加えた樹高となった高木天然木(注1)の稚幼樹等(注2)が幼齢林(注3)にあっては成立本数が立木度(注4)3以上、幼齢林以外の森林にあっては林地面積(注5)に対する疎密度が30%以上となった状態をもって更新完了とします。

また、ぼう芽更新の場合は、ぼう芽性の強い樹種(イタヤカエデ、ハルニレ、ミズナラ等)を対象とし、切り株から発生したぼう芽幹の生育が確実に見込める伸長があり、かつ、周辺の植生の草丈に一定程度の余裕高を加えた樹高となった状態で幼齢林にあっては成立本数が立木度3以上、幼齢林以外の森林にあっては林地面積に対する疎密度が30%以上となった状態をもって、更新完了とします。ただし、林地内で更新の状況が異なる場合は区画を分割し、それぞれの区画に対して判断を行うこととします。

なお、天然更新の完了を確認する方法の詳細については、「天然更新完了基準書の制定について」(平成24年5月15日付け森林第111号森林計画課長通知)によることとします。

(注1) 高木天然木とは、将来において樹冠上層部を形成する樹種で、かつ、樹高が10m以上になる樹種です。

(注2) 稚幼樹等とは、稚幼樹のほか、保残木及びぼう芽を含みます。

(注3) 「幼齢林」とは、伐採後おおむね15年生未満の森林をいいます。

(注4) 「立木度」とは、幼齢林において、現在の林分の本数と当該林分の林齢に相当する期待成立本数(天然更新すべき本数の基準)との対比を十分率であらわしたもので、立木度3は期待成立本数の3割が更新した状態をいいます。なお、伐採後5年を経過した林分における天然更新の対象樹種の期待成立本数は、別途定める「天然更新完了基準書の制定について」によるものとします。

$$\text{立木度} = \text{現在の林分の本数} / \text{当該林分の林齢に相当する期待成立本数}$$

(注5) 「林値面積」とは、更新完了の判断を行う区画の面積です。

#### イ 天然更新補助作業の標準的な方法

天然下種により更新を確保する場合、ササや粗腐植の堆積等により更新が阻害されている箇所については、かき起こしや、枝条整理等を行うこととし、ササなどの下層植生により天然稚幼樹の生育が阻害されている箇所については、刈出しを行うこととします。

また、ぼう芽により更新を確保する場合は、樹液の流動期(6~8月)を避けて伐採することとし、ぼう芽の発生状況等を考慮の上、必要に応じ芽かき又は植込みを行うこととします。

いずれの箇所も定期的に更新の状況等を確認し、必要に応じ補植等を行い更新を確保することとします。

なお、かき起こしの実施に当たっては、林地の保全に十分留意することとし、更新が不十分な箇所については、補植等を行って更新を確保することとします。

### (3) 伐採跡地の天然更新をすべき期間に関する指針

伐採跡地における林地の荒廃を防止する観点から、皆伐、択伐に関わらず原則として伐採が終了した日を含む年度の翌年度から起算して5年以内に更新を完了させることとします。

期間内に更新が完了しなかった場合は、速やかに更新を図る観点から、伐採が終了した日を含む年度の翌年度から起算して7年を経過する日までに天然更新補助作業又は植栽により更新を行うこととします。

### 3 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在

主伐後の適確な更新を図るため、次の森林については原則として植栽によらなければ適確な更新が困難な森林とし、植栽により更新を図ることとします。植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の区域は、自然条件や森林の有する機能の早期回復に対する地域住民等からの社会的要請などを勘案し、次のとおり定め別表1に表します。

- ① 気象、土壌、植生等の諸条件により天然更新が期待できない森林
- ② 早期に成林を目指す必要がある資源の循環利用を目的とした木材等生産林の人工林
- ③ 水源涵養機能の早期回復が特に求められる水資源保全ゾーンの森林

なお、次の箇所は、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の区域には含めないこととします。

- ① 保安林等の制限林内で施業方法が定められている森林
- ② 保健機能森林の区域内における森林保健施設の設置が見込まれる森林
- ③ 公益的機能別施業森林の区域で施業方法を特定している森林
- ④ 湿地、風衝地、岩石地等で更新が著しく困難な森林
- ⑤ ぼう芽性の強い広葉樹で構成される人工林

### 4 森林法第10条の9第4項の伐採の中止又は命令の基準

森林法第10条の9第4項の伐採の中止又は造林の命令の基準については、次のとおり定めます。

#### (1) 更新に係る対象樹種

##### ア 人工造林の場合

第2の1の(1)による。

##### イ 天然更新の場合

第2の2の(1)による。

#### (2) 生育しうる最大の立木の本数として想定される本数

第2の2の(2)による

### 5 その他必要な事項

ア 土砂の流出が懸念される急傾斜地等で地拵えを行う場合は、全刈りを避け、刈払いの方向や枝条等の置き場に十分に留意することとします。

イ 伐採跡地等が放置されないようにするため、森林組合等と連携して森林経営に意欲的な者に伐採跡地等の取得を促すなど林地流動化の取組を通じて、伐採跡地等への植林を推進します。

### 第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

#### 1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法

次のとおり、間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針を示します。

ア 間伐は、林冠がうっ閉し、林木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採して行う伐採の方法であって、伐採後一定の期間内に林冠がうっ閉するよう行うこととします。

イ 間伐に当たっては、森林資源の質的向上を図るとともに、適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持されるよう、適切な伐採率により繰り返し行うこととする。特に、高齢級の森林における間伐に当たっては、立木の成長力に留意することとします。

なお、主要樹種ごとの標準的な間伐の時期等については、次表のとおりとします。

【主要樹種ごとの標準的な間伐の時期】

樹 種	施 業 方 法	間伐の時期（林齢）					間 伐 の 方 法
		初回	2回	3回	4回	5回	
カラマツ (グイマツとの交配種を含む) (一般材)	植栽本数：2,000本/ha 仕立て方法：中庸仕立て 主伐時の設定：450本/ha	19	27	35	43	—	選木方法：定性及び定量 間伐率：20%～33% 間伐間隔年数 標準伐期齢未満：8年 標準伐期齢以上：8年
トドマツ (一般材)	植栽本数：2,000本/ha 仕立て方法：中庸仕立て 主伐時の設定：500本/ha	22	30	38	48	—	選木方法：定性及び定量 間伐率：20%～33% 間伐間隔年数 標準伐期齢未満：8年
アケゾマツ (一般材)	植栽本数：2,000本/ha 仕立て方法：中庸仕立て 主伐時の設定：400本/ha	26	35	44	53	63	選木方法：定性及び定量 間伐率：20%～33% 間伐間隔年数 標準伐期齢未満：9年

注1) 「カラマツ間伐施業指針（北海道林務部監修）」及び「トドマツ人工林間伐の手引き（北海道林務部監修）」などを参考とした。

注2) 植栽本数、主伐時の生産目標及び仕立て方法により、間伐時期が異なることに留意すること

#### 2 保育の作業別の標準的な方法

下刈りは、局地的気象条件、植生の繁茂状況等に応じて適切な時期及び作業方法により行うこととし、その終期は、造林樹種の生育状況、植生の種類及び植生高により判断することとします。

除伐は、侵入木や通常の成長が見込めない若しくは形質の悪い造林樹種など、育成の対象となる林木と競合し成長を妨げるものを適時適切に除去することとします。造林樹種以外であっても、その生育状況、公益的機能の発揮及び将来の利用価値等を勘案し、有用なものは保存し育成の対象とすることとします。

また、つる切りは、育成の対象となる林木の成長を促すため、樹幹に巻き付いたつる類を切って取り除くこととします。除伐と合わせて行うことを基本とし、つる類の繁茂の状況に応じて実施します。

なお、主要樹種ごとの標準的な保育の時期等については、次表のとおりとします。

【下刈り】

樹種	年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	植栽										
カラマツ	春	①	②	②	①	①					
	秋		②	②	①	①	①				
トドマツ	春	①	②	②	①	①	①	①			
	秋		②	②	①	①	①	①	①		
アカエゾマツ	春	①	②	②	①	①	①	①	①	①	
	秋		②	②	①	①	①	①	①	①	①

【除伐】

樹種	年	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	植栽										
カラマツ	春			△							
	秋				△						
トドマツ	春						△				
	秋							△			
アカエゾマツ	春						△				
	秋							△			

注) カラマツには、グイマツとの交配種を含み、トドマツにはエゾマツを含む。

①：下刈り1回 ②：下刈り2回 △：つる切り、除伐

3 その他必要な事項

(1) 要間伐森林及び計画期間内において間伐を実施する必要があると認められる森林に関する事項

森林法第10条の10第2項に基づき、間伐又は保育が適正に実施されていない森林であって、これらを早急に実施する必要があるもの（以下、「要間伐森林」という。）について、要間伐森林である旨並びに当該要間伐森林について実施すべき間伐又は保育の方法及び時期を森林所有者に対して通知します。

また、1及び3に定める間伐の基準に照らし、計画期間内において間伐を実施する必要があると認められる森林の所在等は参考資料に記載のとおりです。

(2) その他間伐及び保育に関する留意事項

木材等生産機能森林に関しては、森林の健全性を確保し利用価値の向上を図るため、適切な間伐及び保育を実施することとします。特に、枝打ちについては、生産目標及び立木の生育状況に応じて、適切な時期及び枝打ち高により積極的に行うこととします。また、保育コストの低減を図るため、緩傾斜地など機械での作業に適した条件にある森林については、高性能林業機械の導入や列状間伐を検討することとします。

第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域における森林施業の方法

公益的機能別施業森林は、森林の有する公益的機能の維持増進を特に図るための施業を積極的に推進すべき森林であり、その区域及び該当区域内における森林施業の方法は次のとおりです。

(1) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（水源涵養林）

ア 区域の設定

水源涵養保安林及び干害防備保安林、ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、

地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林、水源涵養機能の評価区分が高い森林など水源の涵養の機能の維持増進を図る森林を別表2のとおり定めます。

#### イ 森林施業の方法

下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とし、伐期の延長、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図ることとし、当該森林施業を推進すべき森林を別表3のとおり定めます。

### (2) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能、快適的な環境の形成の機能又は保健機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

#### ア 区域の設定

##### ① 土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能の維持増進を図る森林（山地災害防止林）

土砂崩壊防備保安林、土砂流出防備保安林、なだれ防止保安林、落石防止保安林、砂防指定地周辺、山地災害危険地区等や山地災害に発生により人命・人家等施設への被害のおそれがある森林、その他山地災害防止／土壌保全機能の評価区分が高い森林など、山地災害防止機能及び土壌保全機能の維持増進を図る森林を別表2のとおり定めます。

##### ② 快適な環境の形成の機能の維持増進を図る森林（生活環境保全林）

飛砂防備保安林、防風保安林、防雪保安林、防霧保安林、防火保安林や騒音・粉塵等の影響を緩和する森林、その他快適環境形成機能の評価区分が高い森林など、快適な環境の形成機能の維持増進を図る森林を別表2のとおり定めます。

##### ③ 保健・レクリエーション機能、文化機能及び生物多様性保全機能の維持増進を図る森林（保健・文化機能等維持林）

保健保安林、風致保安林、都市緑地法に規定する緑地保全地域及び特別緑地保全地区、都市計画法に規定する風致地区、文化財保護法に規定する史跡名勝天然記念物に係る森林、キャンプ場・森林公園等の施設を伴う森林、史跡等と一体となり優れた自然景観等を形成する森林、その他保健文化機能の評価区分が高い森林など、保健・レクリエーション機能、文化機能及び生物多様性保全機能の維持増進を図る森林を別表2のとおり定めます。

#### イ 森林施業の方法

地形・地質等の条件を考慮した上で伐採に伴って発生する裸地の縮小並びに回避を図るとともに、天然力も活用した施業、風や騒音等の防備や大気浄化のために有効な森林の構成の維持を図るための施業、憩いと学びの場を提供する観点からの広葉樹の導入を図る施業、美的景観の維持・形成に配慮した施業の推進を図ることとし、具体的には、公益的機能の維持増進を特に図るための森林施業を推進すべき森林については、択伐による複層林施業を推進すべき森林として定め、それ以外の森林については、択伐以外の方法による複層林施業を推進すべき森林として定めます。

また、適切な伐区の形状・配置等により、伐採後の林分においてこれらの機能の確保ができる森林は、長伐期施業を推進すべき森林として定めるものとし、主伐の時期を標準伐期齢の概ね2倍以上とし、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図ります。

なお、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち、特に、地域独自の景観等が求められる森林においては、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹を育成する森林施業を行う森林として定めます。それぞれの森林の区域については別表3のとおり定めます。

## 2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域における森林施業の方法

### (1) 区域の設定

材木の生育に適した森林、林道等の開設状況等から効率的な施業が可能な森林、木材等生産機能の評価区分が高い森林で、自然的条件等から一体として森林施業を行うことが適当と認められる森林など、木材の生産機能の維持増進を図る森林を別表2のとおり定めます。

### (2) 森林施業の方法

木材等資源の効率的な循環・利用を考慮して、伐採時期の多様化・長伐期化を図るなど、生産目標に応

じた林齢で伐採するものとし、人工林の主要な樹種の主伐時期については、次表を目安とします。

また、適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本とし、森林施業の集約化、路網整備や機械化等を通じた効率的な森林整備を推進します。

【人工林の主要な樹種の主伐時期の目安】

樹種	標準的な施業体系		
	生産目標	仕立て方法	主伐時期
カラマツ(グイマツとの交配種を含む)	一般材生産・34cm	中庸仕立て	50年
トドマツ	一般材生産・32cm	中庸仕立て	60年
アカエゾマツ	一般材生産・36cm	中庸仕立て	80年

### 3 その他必要な事項

北海道の特性に応じた森林の整備・管理を進めるため、1の公益的機能別施業森林の区域に重複して次の区域を設定します。

#### (1) 水資源保全ゾーン

##### ア 区域の設定

水源涵養林のうち、属地的に水源涵養機能の発揮が特に求められている森林を基本とし、水道取水施設等の集水域及びその周辺において、特に水質保全上重要で伐採の方法等を制限する必要があると認める森林について、それぞれの森林の立地条件、地域の要請を踏まえ、特に、北海道の水資源の保全に関する条例（平成24年北海道条例第9号）第17条の規定に基づく水資源保全地域に指定される森林について、別表2のとおり定めます。

##### イ 森林施業の方法

1の水資源涵養林における森林施業を基本としますが、更なる伐採面積の縮小及び分散化に努めることとし、森林経営計画の実施基準として伐採面積の規模の縮小を行うべき森林を別表3のとおり定めます。

施業の実施にあたっては、水質への影響を最小限に抑えるため、伐採、造林及び搬出を冬季間に行うなど、時期や搬出方法等に留意するとともに、集材路等への水切りを設置するなど降雨等により河川に土砂が流出しないよう、きめ細かな配慮を行うこととします。

伐採跡地については早期に確実な更新を図るものとし、

## 第5 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

### 1 路網の整備に関する事項

(1) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システム並びに作業路網等整備とあわせて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項

#### ア 路網密度の水準及び作業システム

効率的な森林施業を推進するための林地の傾斜区分や搬出方法に応じた路網密度の水準について、次のとおり定めます。

【効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準】

単位 路網密度：m/ha

区分	作業システム	路網密度	
		基幹路網	
緩傾斜地（0°～15°）	車両系作業システム	100以上	35以上
中傾斜地（15°～30°）	車両系作業システム	75以上	25以上
急傾斜地（30°～）	架線系作業システム	15以上	15以上

- 注) 1 「車両系作業システム」とは、車両系の林業機械により林内の路網を移動しながら木材を集積、運搬するシステム。グラップル、ウィンチ、フォワーダ等を活用。
- 2 「架線系作業システム」とは、林内に仮設したワイヤーロープに取り付けた搬器等を移動させて木材をつり上げて集積するシステム。タワーヤード等を活用。
- なお、本表は、木材搬出予定箇所路網を整備する際の目安として適用するものであり、施業を行わない箇所、伐採・搬出を伴わない施業（造林、保育）を行う箇所に適用するものではありません。

作業システムについては、間伐等の素材生産の低コスト化、効率化を図るためには、高性能林業機械の性能を最大限に発揮させることを主眼とした労働生産性の向上が不可欠となります。このためには、機械の性能に応じ一定規模以上の事業量の安定的な確保や、機械作業に適合した高密度の路網、行程全体を通じて生産性が高まるような人員や機械の配置など、地域においてそれらを総合的に組み合わせた低コスト作業システムを構築していく必要があります。とくに作業全体の効率性を左右する木寄せ・集材工程の効率化を図ることが重要であることから、次の表を目安として主にグラップル、ウィンチ、フォワーダ等の車両系林業機械に適合させる形で、輸送距離や輸送量を勘案し、路網をそれぞれの役割に応じて組み合わせ、傾斜等に応じた密度により適切に配置することとします。

【低コスト作業システムの工程】

傾斜区分	伐倒	集材《木寄せ》	造材	巻立て
緩傾斜地 (0° ~15°)	ハーベスタ	トラクタ	ハーベスタ/プロセッサ/グラップルローダ	
		グラップルローダ		
		スキッド		
中傾斜地 (15° ~30°)	チェンソー	トラクタ	ハーベスタ/プロセッサ/グラップルローダ	
		グラップルローダ		
急傾斜地 (30° ~)		スイングヤード	ハーベスタ/プロセッサ/グラップルローダ	

イ 路網整備等推進区域の設定

作業路網の整備と併せて、効率的な森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）を次のとおり設定することとします。

【路網整備等推進区域】

予算の種類	路線の種類	既設/開設予定	具体的な計画の有無	路網整備等推進区域名	面積 (ha)	開設予定路線	開設予定延長 (m)	対図番号
基金	林業専用道 (規格相当)	既設	有	東和	120	東陵1号支線	2,787	①
				東和	72	東陵2号支線	1,600	②
				南丘	67	南丘公園1号支線	1,500	③
		開設予定	無	東丘	408	朝日1号支線	2,300	④
				朝日	434	塩狩北線	2,100	⑤
				東和	944	東陵東線	1,000	⑥

(2) 作業路網の整備及び維持運営に関する事項

ア 基幹路線の整備及び維持運営に関する事項

① 基幹路網の作設にかかる留意点

安全の確保、土壌の保全等を図るため、適切な企画・構造の林道の整備を図る観点等から、林道規定（昭和48年4月1日付け林野道第107号林野庁長官通知）、林業専用道作設指針（平成22年9月4日付け22林整備第602号林野庁長官通知）、北海道が定める林業専用道作設指針（平成23年3月31日付け森計第1280号北海道水産林務部長通知）に則り開設します。

## ② 基幹路網の整備計画

林道を含む基幹路網の開設・拡張計画は次のとおりです。

### 【基幹路網の整備計画】

開設／拡張	種 類	位 置	路線名	延長 (km) 及び箇所数
開設	自動車道	東和	東陵接続線	— 1
開設	林業専用道	西和	西和東線	5. 1—1
開設	林業専用道	東和	東陵1号支	2. 8—1
開設	林業専用道	南丘	南丘公園1号支	1. 5—1
開設	自動車道	日ノ出	日ノ出線	— 1
開設	自動車道	福原	福原線	— 1
開設	自動車道	西和	西和東支線	— 1
開設	自動車道	東丘	東丘2号線	— 1
開設	自動車道	中和	中和連絡線	— 1
開設	自動車道	西和	西和第2線	— 1

## イ 細部路網の整備に関する事項

### ① 細部路網の作設に関する留意点

継続的な使用に供する森林作業道の開設について、林道との関連の考え方や丈夫で簡易な規格・構造の路網を整備する観点等から、森林作業道作設指針（平成22年11月17日付け林整第656号林野庁長官通知）、北海道が定める森林作業道作設指針（平成23年3月31日付け森整第1219号北海道水産林務部長通知）に則り開設します。

### (3) 基幹路網の維持管理に関する事項

「森林環境保全整備事業実施要領」、「民有林林道台帳について」等に基づき、管理者を定め、台帳を作成して適切に管理します。

## 2 その他必要な事項

該当なし

## 第6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

小規模な森林所有形態や林業従事者の高齢化等の課題を克服し、低コストで効率的な森林整備を進めるとともに、安定的、効率的に木材を提供できる体制を整備するため、森林所有者、森林組合、市町村、国有林等の流域を単位とした関係者の合意形成を図りながら、委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化、林業従事者の育成及び確保、動産木材の流通・加工体制の整備等について、計画的かつ総合的に推進することとします。

### 1 森林の経営の受委託等による森林の経営規模の拡大に関する方針

当町における一般民有林の森林所有者は森林所有面積が5ha未満であるなど小規模森林所有者が大半を占めています。また、町内一般民有林のうち、48.7%はカラマツ等の人工林であり、間伐や主伐の対象となることから、施業の集約化による施業コストの低減と木材の安定供給を図る必要があります。このため、和寒町森林組合及びその他の民間林業事業者による森林経営の受託や林地流動化の促進により、森林経営の規模拡大を促進します。

## 2 森林の施業又は経営の受委託等による規模拡大を促進するための方策

委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等については、森林所有者等への働きかけ、施業集約化に向けた長期の施業の受委託など森林の経営の受委託に必要な情報の入手方法の周知をはじめとした普及啓発活動のほか、森林情報の提供及び助言・あっせんなどを推進し、意欲ある森林所有者・森林組合・民間事業者への長期の施業等の委託を進めるとともに、林業経営の委託への転換を目指すこととします。その際、長期の施業等の委託が円滑に進むよう、施業内容やコストを明示した提案形施業の普及及び定着を促進します。

## 3 森林の施業又は経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項

森林の施業又は経営の受託等を実施する際には、受託者である森林組合・林業事業者と委託者である森林所有者が森林経営委託契約を締結することとします。

なお、森林経営受委託については、森林経営計画の計画期間（5カ年間）において、自ら森林の経営を行うことができるよう造林、保育及び伐採に必要な育成権が付与されるようにすることに加えて、森林経営計画が施業の行う森林のみならず、当面の施業を必要としない森林に対する保護も含めた計画となるよう委託事項を適切に設定することに留意するほか、森林経営計画の実行・管理に必要な路網の設置及び維持運営に必要な権限や、森林整備に要する支出の関係を明確化するための条項を適切に設定することに留意します。

## 4 その他必要な事項

該当なし

# 第7 森林施業の共同化の促進に関する事項

## 1 森林施業の共同化の促進方向

本町に森林を有する町、個人等森林所有者及び森林組合等で相互に連絡を密にして、官民一体となった森林施業の共同化、林業後継者の育成、林業機械化の促進及び木材流通・加工体制の整備など、長期展望に立った林業諸施策の総合的な導入と実施を計画的かつ組織的に推進することとします。

### (1) 森林施業の共同化の促進方向

本町の一般民有林面積の約62%を占める林家等の森林所有者は5ha未満の小規模所有であり、森林施業を計画的、重点的に行うため、町、森林組合、森林所有者等地域ぐるみで推進体制を整備することとします。

## 2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策

小規模な森林所有者が多い本町において、林家個人で伐採、造林、保育及び間伐等を計画的に実施し、良質材の生産を目指すことは困難であるため、施業の共同化を助長し、合理的な林業経営を推進する必要があります。

森林管理に対して消極的な森林所有者に対しては積極的な呼びかけをおこない、森林の機能及び森林管理の重要性を認識させるとともに、林業経営へ参画意欲の拡大を図り、施業実施協定への参画を促すこととします。

### 3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

森林所有者等が共同して森林施業を実施する場合には、次の事項に留意することに努めることとします。

- ① 共同して森林施業を実施しようとする者（以下「共同施業実施者」という。）は、一体として効率的に施業を実施するのに必要な作業道、土場、作業場等の施設の設置及び維持管理の方法並びに利用に関し必要な事項をあらかじめ明確にすること。
- ② 共同施業実施者は、共同して実施しようとする施業の種類に応じ、労務の分担又は相互提供、林業事業体等への共同による施業委託、種苗その他の共同購入等共同して行う施業の実施方法をあらかじめ明確にしておくべきこと。
- ③ 共同施業実施者の一人が①又は②により明確にした事項について遵守しないことにより、他の共同施業実施者に不利益を被らせ又は森林施業の共同実施の実効性が損なわれないよう、あらかじめ、施業の共同実施の実効性を担保するための措置について明確にすること。

### 4 その他必要な事項

該当なし

## 第8 その他森林整備の方法に関し必要な事項

### 1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項

林業に従事する者の養成及び確保については、就業相談会の開催、就業体験等の実施及び技能・技術の習得のための計画的な研修の実施などによる林業就業者のキャリア形成支援並びに森林組合等の林業事業体における雇用関係の明確化及び雇用の安定化による他産業並みの労働条件の確保等雇用管理の改善並びに事業量の安定的確保、合併・協業化及び生産性の向上等による事業の合理化を一体的・総合的に促進するとともに、その支援体制の整備に努めることとします。

また、経営方針を明確化し、林業経営基盤を強化することにより、地域の林業の担い手となり得る林業経営体及び林業事業体を育成し、林家等に対する経営手法・技術の普及指導に積極的に取り組むとともに、適切な森林施業を行い、労働安全管理に努める林業事業を活用し、森林所有者の施業の円滑化を推進することとします。

国の「森林・林業基本計画」では、適正かつ効率的な森林整備の実施などのため、林業事業体に関する情報の登録・公表や評価する仕組みの導入を推進されています。それに伴い、北海道では森林整備等を行なう林業事業体の基本情報等を登録し、公表する「北海道林業事業体登録制度」が創設され、本町においても、本制度を周知・活用し、明確かつ客観的な事業体情報に基づいて事業実行者を森林所有者等が選択することができるようにするとともに、適切な森林施業を行ない、労働安全衛生管理に努める健全な林業事業体の育成を図ります。

#### ア 人材の育成・確保

新規的林業事業者や専門知識を有する技術者の養成、高性能林業機械など高度な運転技術が必要とされるオペレーターや次世代を担う中堅労働者を対象とした作業リーダーの育成など、研修制度の充実を図るとともに、林業への新規参入や就労の長期化を促進するための支援などを総合的に推進し、人材の育成及び確保を図ることとします。

また、新規の森林所有者、若手林業後継者及び林業グループに対し、経営手法や技術の普及指導を図り、後継者等が安定して林業経営を維持できるよう支援することとします。

#### イ 林業事業体の経営体質強化

年間を通じた林業従事者の就労を確保するため、林業事業体における森林整備事業の掘り起こしや林業経営コンサルタントなど、経営の多角化や協業化、合併等による広域化を進め経営の体質強化、高度

化を促進することとします。特に、地域の森林における森林整備の中心的な担い手や山村地域の雇用の受け皿として重要な役割を担う森林組合の経営基盤の強化が必要であるため、組織体制の充実や事業活動の強化、合併の推進などを図り、地域の中核となる森林組合の育成に努めるものとします。

また、未利用材を有効活用した製品の提供や森林見学ツアー等の森林空間を活用した森林関連ビジネスを支援することとします。

## 2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項

### ア 林業機械化の促進の方法

将来の森林資源に対する生産供給体制の整備と森林施業の合理化を図るため、従来からのチェーンソーとトラクタによる作業システムに加え、ハーベスタ、フェラーバンチャ、プロセッサ等による伐倒や、枝払い、玉切り作業、フォワード、スキッド等による集材作業によるシステムを採用するなど、高性能林業機械による安全で効率的な作業システムの普及及び定着を図ることとし、高性能林業機械の導入及び効率的な利用について取り組むこととします。

## 3 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針

地域の森林・林業、木材産業等の活性化及び木材自給率の向上を図るためには、地域で生産された木材を地域で消費する「地材地消」の推進が重要です。このため、地域材の利用に向けた町民への普及啓発活動や、工務店、建設会社等との連携などに取り組むとともに、町民への周知を徹底し、需要促進を図るよう努めることとし、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施行を踏まえ当町の公共建築物等において積極的に木材、木製品を利用するよう努めます。

特に、再生可能エネルギーとして有効活用が見込まれる林地残材や間伐材等、木質バイオマスエネルギーの活用については本町の重点施策として位置付け、地域材を活用したチップ燃料の製造、公共施設等への木質バイオマスボイラー導入など、地域の資源を地域内で循環利用する「創エネルギー」の取り組みを推進し、地域材の有効活用を促進しつつ、このような需要に対し地域材を安定的に供給するため、木材流通の合理化や木材産業の体質強化を促進することとします。

## 4 その他必要な事項

該当なし

# III 森林の保護に関する事項

## 第1 鳥獣害の防止に関する事項

エゾシカによる森林の被害状況等に応じ、被害防止するため措置を実施すべき森林の区域及び当該区域内におけるエゾシカ被害防止の方法について、次のとおり定めます。

### 1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

#### (1) 区域の設定

「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について(平成28年10月20日付け28林整研第180号林野庁長官通知)」に基づき、エゾシカによる森林被害の状況等を把握できる全国共通のデータ及び、エゾシカ被害マップデータ等に基づき、食害や剥皮等の被害がある森林又はそれら被害がある森林の周辺に位置し被害発生のおそれがあるなど、エゾシカによる被害を防止するための措置を実施すべき森林を林班単位で別表4のとおり定めます。

また、区域は必要に応じ、試験研究機関の論文等の文献、森林における各種調査、地域住民等からの情報その他、エゾシカによる森林被害又は生息情報により補正することとします。

## (2) 鳥獣害の防止の方法

森林の適確な更新及び造林木の確実な育成を図るため、次のとおり、エゾシカによる被害の防止に効果を有すると考えられる方法により、次のア又はイに掲げるエゾシカ防止対策を地域の実情に応じ単独で又は組み合わせ推進するとともに被害防止対策については、特に人工植栽が予定されている森林を中心に推進することとします。

なお、アに掲げる防護柵については改良等を行いながら被害防止効果の発揮を図るよう努めるとともに、エゾシカ防止対策の実施に当たっては鳥獣保護管理施策や農業被害対策等と連携・調整することとします。

(関連計画：北海道エゾシカ管理計画、鳥獣被害防止計画)

特に、生息密度が高い地域においては巡回などにより被害状況等森林の状態を的確に把握し、被害が発生し、又はそのおそれのある森林については森林組合、林業事業者等の関係機関と連携し、適切な鳥獣害防止対策を早期に行うよう努めることとします。

### ア 植栽木の保護措置

防護柵の設置又は維持管理、忌避剤散布や幼齢木保護具の設置、枝条巻き、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリング・巡視等を実施します。

### イ 捕獲

わな捕獲（ドロップネット、くくりわな、囲いわな、箱わな等によるものをいう。）、誘引狙撃等の銃器による捕獲等を実施します。

## 2 その他必要な事項

鳥獣害防止森林区域においては、エゾシカの被害防止対策が適切に実施されているかどうかを現地調査や各種会議での情報交換、林業事業者や森林所有者等からの情報収集等を行うこと等により確認することとします。

また、食害の生じるおそれがある地域については、造林樹種の選定に当たりアカエゾマツ等の嗜好性の低い樹種の植栽を検討することとします

## 第2 森林病虫害の駆除又は予防、火災の予防その他森林の保護に関する事項

森林の保護等については、適切な間伐等の実施、保護樹帯の設置及び広葉樹林及び針広混交の育成複層林の造成等により、病虫害、鳥獣害、寒風害、山火事等の森林被害に対する抵抗性の高い森林の整備に努めるとともに、日常の管理を通じて森林の実態を適確に把握し、次の事項に配慮して適時適切に行うこととします。

### 1 森林病虫害の駆除又は予防の方法等

#### (1) 森林病虫害の駆除及び予防の方針及び方法

森林病虫害については、被害の早期発見及び早期防除に努め、当該病虫害の種類や被害の程度に応じ、薬剤の塗布、被害木の伐倒・整理など適切な方法により防除を行うこととします。なお、森林病虫害のまん延のために緊急に伐倒駆除する必要がある場合については、伐採の促進に関する指導等を行う場合があります。

#### (2) その他

森林病虫害の被害の早期発見、早期防除のため、町と北海道、林業試験場、森林組合、その他林業関係者が連携して対応します。

### 2 鳥獣による森林被害対策の方法

ア エゾヤチネズミによる食害の発生を防ぐため、カラマツ植栽地においてはネズミの生息場所となる枝条のたい積を避けるように努めるとともに、可能な場合は耐鼠性の高い樹種を植栽するなどの対策を行います。また、鼠の発生動向も踏まえ、必要に応じて殺鼠剤の散布や防鼠溝の設置などの対策を実施することとします。

イ 鳥獣害防止森林区域外のエゾシカ及びその他の野生鳥獣による被害については、その早期発見に努めるとともに、試験研究機関等と連携し、発生原因の究明及び防除技術の開発等を行い早期防除に努める

こととします。

ウ 森林の保護にあたっては、森林組合、林業事業者等の関係機関及び地域住民との一層の協力のもとに、地域の実情に応じて、野生鳥獣の生息環境となる針広混交の育成複層林や天然生林に誘導するなど、野生鳥獣との共存に配慮した対策を適切に推進することとします。

### 3 林野火災の予防の方法

山火事等の森林被害を未然に防止するため林内歩道等の整備を図りつつ、森林巡視、山火事警防等を適時適切に実施するとともに、防火線、防火樹帯等の整備を推進することとします。

また、春先の乾燥時期には森林巡視を強化するほか、森林の保護及び管理を要する重点地域を設け、効果的な防火線・防火道等の整備や保護標識、消化器格納庫等の施設の設置を推進することとします。

### 4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項

火入れを行う際は、和寒町民有地火入許可に関する規則に基づき適切に実施することとします。

### 5 その他必要な事項

(1) 病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき林分

該当なし

(2) その他

ア 気象害については過去の被害事例を参考に保護樹帯を設けるなどの防止対策に努めることとします。

イ 森林の巡視にあたっては、森林法違反行為の未然防止、山火事の防止、森林の産物の盗採等の防止、森林被害の早期発見等を重点的な点検事項とします。

## IV 森林の保健機能の増進に関する事項

該当なし

## V その他森林の整備のために必要な事項

### 1 森林経営計画の作成に関する事項

森林所有者等が森林経営計画を作成し、計画に基づいた施業を実施することは、当町森林整備計画の達成に寄与することにつながることから、森林所有者等に対する制度の周知、作成に係る支援などにより計画を推進します。

森林経営計画の作成にあたっては、次の事項について適切に計画するものとします。

(1) IIの第2の3の植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における主伐後の植林

(2) IIの第4の公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

(3) IIの第6の3の森林の施業又は経営の受託等を実施する上で留意すべき事項及びIIの第7の3の共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

(4) IIIの森林病虫害の駆除又は予防その他森林の保護に関する事項

### 2 森林の整備を通じた地域振興に関する事項

和寒町内における建築物等における地域材の利用に努めるとともに、関係機関と連携しながら地域材の利

用に取り組みやすい体制整備に努めるものとします。また、木材製造業者その他の関係者は適切な役割分担の下、相互に連携を図りながら、地域材の利用の促進及び公共建築物の整備の用に供する地域材の適切な供給の確保に努めるものとします。

### 3 住民参加による森林の整備に関する事項

#### (1) 地域住民参加による取組みに関する事項

近年の地球環境問題や自然エネルギーなどへの関心の高さから、住民の森林に対するニーズは高度・多様化しており、住民の理解と協力の下、地域住民のニーズに応えた多様な森林整備を推進していくことが必要です。

また、様々な体験活動を通じて森林と関わる形での森林利用への期待が高まっておりことから、森林所有者等の理解と協力を得ながら、開かれた森林を確保し、その整備を進めるとともに、森林環境教育や健康づくり等の森林利用を推進していくこととします。

### 4 その他必要な事項

#### (1) 特定保安林の整備に関する事項

特定保安林の整備に当たっては、間伐等の必要な施業等を積極的かつ計画的に推進し、当該目的に即した機能の確保を図るものとします。

特に、造林、保育、伐採その他の施業を早急に実施する必要がある森林については、「要整備森林」とし、森林の現況等に応じて、必要な施業の方法及び時期を明らかにしたうえで、その実施の確保を図るものとします。

#### (2) 法令等により施業について制限を受けている森林の施業方法

該当する法令に基づいて施業を行い、制限林が重複して指定されている場合は、制限が強い方の施業方法に基づいて行うよう留意します。

##### ① 保安林及び保安施設地区の区域内の森林

保安林及び保安施設地区の施業方法に係る一般的留意事項は、次のとおりです。

なお、保安林及び保安施設地区の施業方法については、個々の指定施業要件が定められていますが、制限の決定及び立木伐採の許可等の処理は、保安林制度の一環として行われますので留意が必要です。

##### ア 主伐の方法

(ア) 伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとします。

(イ) 伐採方法は、次の3区分とします。

a 伐採方法の指定なし（皆伐を含む。）

b 択伐（伐採区域内の立木を均等な割合で伐採するもの。）

c 禁伐（全ての立木の伐採を禁止するもの。）

##### イ 伐採の限度

(ア) 皆伐面積の限度は、森林法施行令第4条の2第3項の規定に基づき公表される面積の範囲内とします。

(イ) 一箇所当たりの皆伐面積の限度は、次のとおり指定施業要件に定められています。

a 水源かん養保安林（ただし、急傾斜地の森林及び保安施設事業の施行地等の森林その他森林施業上これと同一の取り扱いをすることが適当と認められる森林に限る。）については、20ha以下とします。

b 土砂流出防備、飛砂防備、干害防備及び保健の各保安林については、10ha以下とします。

c その他の保安林であって、当該森林の地形、気象、土壌等の状況を勘案し、特に保安機能の維持又は強化を図る必要があるものについては、20ha以下とします。

(ウ) 防風、防霧保安林については、標準伐期齢以上である部分を幅20m以上にわたり帯状に残存させなければなりません。

(エ) 択伐の限度は当該森林の立木材積に択伐率を乗じて得られる材積を超えないものとします。

(オ) 初回の択伐率は、指定施業要件に定められている率とします。

また、2回目以降の択伐率は、伐採しようとする当該森林の立木の材積から前回の択伐直後の当該森林の立木の材積を減じて得た材積を伐採しようとする当該森林の材積で除して算出し、この率が10分の3を超えるときは10分の3（指定施業要件で定められた条件を満たす場合には10分の4）とします。

#### ウ 特例

(ア) 伐期齢の特例の認められている保安林は、標準伐期齢に達していなくても伐採することができます。

(イ) 伐採方法についての特例は、択伐と定められている森林にあつては伐採指定なし、同じく禁伐と定められている森林については択伐とします。

(ウ) 特例の有効期限は、当該特例の指定日から10年を超えないものとします。

#### エ 間伐の方法及び限度

(ア) 間伐をすることができる箇所は原則として、樹冠疎密度が10分の8以上の箇所とします。

(イ) 間伐の限度は、該当森林の立木材積の100分の35を超えない範囲で、指定施業要件に定められた率とします。

#### オ 植栽の方法及び期間

(ア) 伐採跡地への植栽は、当該箇所に指定施業要件として定められた樹種及び本数を均等に分布するように行われなければなりません。

(イ) 植栽は、伐採が終了した年度の翌年度の初日から起算して2年以内に行われなければなりません。

### (3) 森林施業の技術及び知識の普及・指導に関する事項

地域の特性に応じた具体的な施業の方法に関して、森林組合等の林業事業体、北海道指導林家など地域の関係者の合意形成を図り、適切な方法による間伐等の森林整備が進むよう道の指導機関と連携した普及啓発を進めます。

### (4) 林地の保全に関する事項

降雨等により、河川が汚濁する恐れのある地域においては、林産物の搬出時期や搬出方法等に留意し、林地の保全に努めるものとします。また、林地崩壊や流木被害のおそれがある地域については、次の事項に留意し施業を行い、林地の保全に努めるものとします。

① 集材路等を作設する際は、路線の配置や密度に十分留意し、土砂の流出や崩壊、水質汚濁の防止に努めることとします。なお、溪流沿いの集材路等の敷設は、極力避けるものとします。

② 樹根による土壌緊縛力を強化するため、複層林化や長伐期化を推進することとします。

### (5) 森林の保護及び管理に関する事項

森林は、保健・文化・レクリエーション活動等を目的として年々利活用が増加していることから、森林の各種機能を維持、向上させていくためには、森林の適正な保護と管理が重要となってきました。このことから、森林の保護及び管理に当たっては、次の事項について推進するものとします。

① 山火事を未然に防止するため、発生頻度の高い市街地周辺の森林や自然公園等の入り込み者の多い地域を対象に重点的に森林巡視を行う共に、ポスター等を活用した予防啓発等に努めます。

② 病虫獣害については、被害の早期発見に努めるとともに、試験研究機関等と連携し、発生原因の究明及び防除技術の開発等を行い、早期防除に努めます。

③ 気象害については、過去の被害事例を参考に保護樹帯等を設けるなどして防止対策に努めるものとします。

④ 町、森林組合等の関係機関及び地域住民との一層の協力のもとに効率的、合理的な森林の保護及び管理を推進します。

### (6) 森林施業共同化重点的实施地区

「森林施業共同化重点实施地区」は、森林施業の共同化を組織的、効率的に行うことを旨とする区域であり、当該区域において基幹路網の継続的な開設を行う路線及び区域は次のとおりです。

路線名	地区の名称	地区の所在	区域面積
東陵1号支線	東和	東和・東丘	944
東陵2号支線	東和	東和・東丘	944
南丘公園1号支線	南丘	南丘・塩狩	756
朝日1号支線	東丘	東丘・三笠	408
塩狩北線	朝日	朝日・塩狩	434
東陵東線	東和	東和・東丘	944

別表1 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在

		森 林 の 区 域
林班		小班
1	水源涵養林	15, 16, 28, 29, 41, 44, 60, 72
2		24
3		35, 38, 60, 73, 100, 101, 110
4		4, 28~32, 34, 86, 90, 91
5		36, 46, 60, 62, 66, 68, 96~99, 102
7		3, 15, 16, 21, 29~31, 46, 48, 60~63, 90, 104~106, 108~111, 115, 116, 130, 134 135, 143, 147, 148, 160, 161, 163~165, 167, 170, 177, 184, 195, 201, 203, 204 212, 216, 219, 231, 232, 234, 235, 241, 242, 245, 249, 251, 254~260, 265, 266, 274 285, 289, 303, 309, 312, 316, 318, 321~323, 329~331, 337, 341~344, 356
8		18, 30, 40
9		3, 10, 15, 27, 41, 43, 63, 65, 70~72, 80, 81, 84, 91, 100, 101
10		3, 7~9, 13, 20, 27, 28, 30, 31, 33, 35, 36, 39, 42~44, 52, 59, 67, 71, 73, 74, 84, 89 90, 110, 111, 113, 114, 129, 134, 140~142, 150, 151, 155, 157, 159, 166, 177, 180 197, 208, 209, 211, 212, 217, 220, 221, 223
11		8~10, 12, 15, 18, 20, 21, 28, 30, 31, 37, 38, 40, 42, 46, 60, 71, 72, 75, 77, 92, 93, 97, 104
12		1, 23~25, 33, 35, 36, 53, 56, 58, 61, 79, 83, 88, 93, 94, 97, 103, 108, 114, 121, 129 146, 148~150, 153, 154
13		9, 16, 20, 24, 35, 39
14		3, 5, 9, 19
15		18, 25, 26, 35, 36, 43, 47, 48, 57, 76, 83, 90
16		20, 69, 75, 76, 89, 101, 102,
17		8, 26, 41, 42, 60
18		3, 6, 14, 15, 18, 27, 28, 34, 36, 52~54, 56, 59, 62, 73, 77, 88, 95, 128, 129, 132, 134 159~162, 164~166, 168, 169, 176~178, 185, 189, 191, 200, 206, 212, 214 215, 218, 219, 225~227, 230~232
19		7, 9, 11, 12, 14, 17, 18, 21~23, 25, 27, 28, 30, 31, 42, 69, 76, 100, 104, 108, 113, 114 118, 121, 131, 132, 135, 138~142
20		1, 3, 5, 8~10, 15, 16, 29, 30, 33, 48~50, 55~60, 62, 67, 79, 81~83, 87, 88
21		10, 16, 18, 25, 64, 68, 69, 71~73, 78, 79, 82, 84~88
22		2, 4~7, 9, 17, 20~23, 25, 29, 34, 53~55, 58, 61, 64, 66, 67, 75, 76, 80, 81, 83~86, 107 108, 110~112, 119, 126~129, 131~135, 137, 139, 147, 148, 150~153, 160, 190~192 194
23		7
24		7, 14, 23~25, 27, 53, 58~60, 82, 96, 115
26		30, 31, 33~38, 57, 59, 65
27		28, 30, 33, 36~38, 41, 47, 48
28		13, 14, 33
29		6, 8, 9, 14, 15, 17, 33, 49, 54~56, 82~84, 93, 99
30		9~11, 13, 14, 19~27, 39
32		9, 11, 17, 37, 41, 43, 45, 54, 62, 66, 67, 75, 84, 87, 88, 97, 111
33		14, 25~27, 29, 30, 35~39, 42, 44, 45, 47, 48, 51, 52, 56, 67, 95, 97, 99, 104, 105, 107
34		4, 18, 20, 30, 51, 52, 54~56, 62, 73~78, 81, 88, 92, 105, 120, 136, 158, 161~164, 174 186, 193, 195, 196, 198, 202, 217, 219, 220, 224, 232, 236, 241, 257, 258, 261, 262

35	水源涵養林	5, 10, 15, 21, 22, 25, 27, 28, 43, 57~59, 61, 66~68, 70, 76, 81, 82, 84, 86, 88, 89 93~96, 100, 101, 106, 115, 116	
36		10, 36, 37, 54, 56, 60, 61, 64, 72, 75, 78, 79, 90, 98, 102~104	
37		21, 35~37, 39, 86, 87, 100, 105, 106, 116, 135, 136, 138, 148, 153	
38		1, 2, 7, 15, 16, 18~20, 33, 40~42, 46, 47, 54, 57, 62~64, 66~68, 70, 71, 73~75 78~81, 107, 112, 113, 117, 118, 130~133, 135, 138, 139, 142~144, 146~148, 154, 155, 161, 165, 168, 169, 172, 176, 178~180	
39		1, 28, 45~47, 49	
40		2, 15, 18~20, 46, 64, 75, 80, 87, 102, 105, 113, 115, 116, 122, 135~137, 142, 146, 147 151~155, 157~159, 178, 191, 198, 201, 208, 215, 218, 235, 239, 240, 250, 255	
41		2, 5~7, 25, 28, 37	
42		2~4, 10, 11, 13, 16, 18	
43		5, 7, 8, 15, 20~23, 27, 37, 40, 41, 45, 47, 48	
44		9, 16, 19, 31, 32, 38, 66, 68, 70~72, 74, 80, 86, 87, 89, 91, 105, 110, 115, 128, 131	
45		14, 15, 18, 26	
46		4, 10~12, 24, 29, 47, 49, 52~54, 56, 57, 67	
47		2, 7, 13, 15, 17, 18, 24~28, 53, 67, 69, 76	
25		木材等生産林	1, 3, 4, 8, 14~16, 18, 20, 21, 23~25, 28~31, 41~50, 52~54, 56, 58, 59
26			1~7, 9, 10, 14~16, 20~28, 39, 42, 43, 45~49, 51~53, 55, 56, 58, 60~64
31	1, 3~9, 18, 21, 22, 25, 27, 30, 31, 33, 35, 37~39, 44, 47, 49, 52, 55, 61, 63~65, 67, 68, 71, 73, 76, 78, 80~86, 88, 91~94, 96~99, 101, 104~106, 108, 110, 112~116, 118~120, 122, 125, 129~132, 134, 138, 140, 146, 147, 149, 150, 152, 153		
48	1, 9, 11~13, 15, 17, 19, 22, 24, 28~30, 32~35, 37, 38, 40, 43, 44, 47, 49, 52, 53, 57~59, 62, 63, 65~69, 71, 73, 76, 77, 79		
49	5, 7, 8, 10, 13, 14, 21, 22, 30, 31, 33, 36, 38, 39, 42, 46, 47, 50, 52~54, 63, 65, 68~72, 78, 79, 81, 83~89		
50	1, 2, 4, 5, 7~11, 14~17, 23, 24, 26~30, 35, 37, 42~44, 161, 165~168, 170~173, 176, 178, 179, 191, 193, 194		
51	3, 6, 16, 25, 27~30, 33, 42, 44		
52	2, 3, 7, 8, 10~12, 14, 16~20, 23, 25~28, 30~36, 39, 48~51, 53, 62~65, 67, 71, 72, 74, 75, 77, 79~81, 91, 92, 99~102, 104, 108~110, 112, 113, 121~123, 130		
53	1~3, 5~7, 11, 12, 15, 22, 30, 31, 45, 50, 51, 79, 111, 112, 121~123, 134, 136, 141, 142, 151, 161, 163, 165, 181, 195, 196		

別表2 公益的機能別施業森林及び木材等生産機能の維持増進を図る森林の区域

## 【一般民有林】

## 1 共通のゾーニング

区分	森林の区域		面積 (ha)
	林班	小班	
水源涵養林	1	全域	56.74
	2	全域	70.32
	3	5、111を除く全域	119.48
	4	18～27、52、53、98を除く全域	97.95
	5	10、11、16～23、28、32、33、36、46、47、49～51、53～58、60～68、73、80～86、88、90、96～105	48.32
	6	3、20を除く全域	193.50
	7	1、206、305、370を除く全域	510.96
	8	全域	50.92
	9	1、2を除く全域	126.35
	10	2、32、79～83、88、93、130～132、138、160、164、193、199～204、207、214、215、を除く全域	191.87
	11	112を除く全域	123.66
	12	全域	159.76
	13	全域	86.24
	14	1、2、12、18、20、22を除く全域	14.56
	15	1、11、15、16、62、68、85を除く全域	134.19
	16	1～4、6、7、9、11、20～22、24、31、39、40、44、46、47、50、55、56、62、69、70、74～76、80、83～85、88、89、94、98～102、104、105	47.93
	17	3、4、35、40、43～45を除く全域	66.21
	18	9、33、57、74～76、107、172を除く全域	175.72
	19	33、35、36、50～57、59、62～65、70～74、77～79、82～88、93、94、101、128を除く全域	86.59
	20	全域	111.81
	21	22、100を除く全域	135.88
	22	全域	180.85
	23	1、6、8を除く全域	46.39
	24	86を除く全域	78.08
	26	30～38、56、58、60～64	7.16
	27	全域	26.90
	28	全域	16.12
	29	全域	74.91
	30	全域	93.71
	32	10、14～16、21、24～27、29～31、36、48、49、68、76、92～94、105、110を除く全域	87.35
	33	全域	80.12
	34	95、96、102を除く全域	395.47
	35	全域	177.62
	36	16～20、22、23、25、66～70、73、74、77、99、100、126、132、133、141～146、148、152	97.16
	37	全域	145.44
	38	14、53、58、59、61、181を除く全域	173.66
	39	4、5、7～9、11、12、25～27、41、43、48を除く全域	36.12

水源涵養林	40	3、10、13、16、21、22、28～35、38～43、45、47、48、52～55、57～60、62、63、65～70、72、76～78、81、83、86、97、100、106、108、110、118、129～131、134、141、148、160、162、163、167、168、172、174、190、192、203～205、207、209、211～214、231、236、238、241～245、249、253、256、261 を除く全域	234.65
	41	全域	25.56
	42	全域	29.80
	43	10、11、14 を除く全域	106.92
	44	12、15、17、18、25～30、33、35、41～46、48、58～60、62、90、99、108 を除く全域	183.16
	45	27、28、30～32 を除く全域	31.60
	46	全域	64.77
	47	全域	83.10
山地災害防止林	55	全域	76.00
	3	5、111	1.08
	4	18～27、52、53、98	14.80
	5	3～9、12、14、15、24～27、29～31、34、35、37～42、44、45、52、69～72、74～79、87、89、91、92、106～108	57.80
	6	3、20	15.40
	7	1、206、305、370	4.28
	9	1、2	4.00
	10	2、32、79～83、88、93、130～132、138、160、164、193、199～204、207、214、215	14.84
	11	112	0.08
	14	1、2、12、18、20、22	24.36
	15	1、11、15、16、62、68、85	10.95
	16	10、13～16、19、25～28、30、32～34、43、48、49、51～54、57～61、64～68、71～73、77、78、81、82、86、87、96、97、103	58.22
	17	3、4、35、40、43～45	4.61
	18	9、33、57、74～76、107、172	18.24
	19	33、35、36、50～57、59、62～65、70～74、77～79、82～88、93、94、101、128	21.48
	21	22、100	6.48
	23	1、6、8	38.28
	24	86	1.60
	32	10、14～16、21、24～27、29～31、36、48、49、68、76、92～94、105、110	11.76
	34	95、96、102	1.56
36	16～20、22、23、25、66～70、73、74、77、99、100、126、132、133、141～146、148、152	17.92	
38	14、53、58、59、61、181	11.24	
39	4、5、7～9、11、12、25～27、41、43、48	69.24	
40	3、10、13、16、21、22、28～35、38～43、45、47、48、52～55、57～60、62、63、65～70、72、76～78、81、83、86、97、100、106、108、110、118、129～131、134、141、148、160、162、163、167、168、172、174、190、192、203～205、207、209、211～214、231、236、238、241～245、249、253、256、261	126.72	

山地災害防止林	43	10、11、14	4.80
	44	12、15、17、18、25、26、28～30、33、35、42～46、48、58～60、62、90、99、108	52.56
	45	27、28、30～32	11.48
	49	26	1.84
生活環境保全林	53	4、193	0.83
	54	全域	23.23
保健文化機能等維持林	44	27、41	11.84
木材等生産林	25	全域	26.16
	26	30～38、56、58、60～64 を除く全域	23.69
	31	全域	129.05
	48	全域	137.08
	49	26 を除く全域	204.72
	50	全域	112.20
	51	全域	36.72
	52	全域	69.61
	53	4、193 を除く全域	70.17

## 2 上乗せのゾーニング

区分	森林の区域		面積 (ha)
	林班	小班	
水資源保全ゾーン	19	1～3、16～18、43、45～47、87～89、98～101、109～111、113～114、116、123	33.80
	21	20、24	19.76
	22	10、11、14、154、155	20.16
	40	78、80、212～213、215	12.20
	41	6、14、16	2.56
	55	1～7	70.20

### 【道有林】

該当なし

別表3 森林施業の方法を特定すべき森林の区域

区分	施業方法	森林の区域		面積 (ha)	実施基準
		林班	小班		
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	伐期の延長を推進すべき森林	1	全域	56.74	主伐林齢： 標準伐期齡 +10年以上  皆伐面積： 20ha以下
		2	全域	70.32	
		3	5,111を除く全域	119.48	
		4	18～27,52,53,98を除く全域	97.95	
		5	10,11,16～23,28,32,33,36,46,47,49～51,53～58,60～68,73,80～86,88,90,96～105	48.32	
		6	3,20を除く全域	193.50	
		7	1,206,305,370を除く全域	510.96	
		8	全域	50.92	
		9	1,2を除く全域	126.35	
		10	2,32,79～83,88,93,130～132,138,160,164,193,199～204,207,214,215,を除く全域	191.87	
		11	112を除く全域	123.66	
		12	全域	159.76	
		13	全域	86.24	
		14	1,2,12,18,20,22を除く全域	14.56	
		15	1,11,15,16,62,68,85を除く全域	134.19	
		16	1～4,6,7,9,11,20～22,24,31,39,40,44,46,47,50,55,56,62,69,70,74～76,80,83～85,88,89,94,98～102,104,105	47.93	
		17	3,4,35,40,43～45を除く全域	66.21	
		18	9,33,57,74～76,107,172を除く全域	175.72	
		19	1～3,16～18,33,35,36,43,45～47,50～57,59,62～65,70～74,77～79,82～89,93,94,98～101,109～111,113～114,116,123,128を除く全域	54.99	
		20	全域	111.81	
		21	20,22,24,100を除く全域	116.12	
		22	10,11,14,154,155を除く全域	160.69	
		23	1,6,8を除く全域	46.39	
		24	86を除く全域	78.08	
		26	30～38,56,58,60～64	7.16	
		27	35,43,49,51～53を除く全域	23.66	
		28	全域	16.12	
		29	全域	74.91	
		30	全域	93.71	
		32	10,14～16,21,24～27,29～31,36,48,49,68,76,92～94,105,110を除く全域	87.35	
		33	全域	80.12	
		34	95,96,102を除く全域	395.47	
		35	全域	177.62	
		36	16～20,22,23,25,66～70,73,74,77,99,100,126,132,133,141～146,148,152	97.16	
		37	全域	145.44	

		38	14, 53, 58, 59, 61, 181 を除く全域	173.66	
		39	4, 5, 7~9, 11, 12, 25~27, 41, 43, 48 を除く全域	36.12	
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	伐期の延長を推進すべき森林	40	3, 10, 13, 16, 21, 22, 28~35, 38~43, 45, 47, 48, 52~55, 57~60, 62, 63, 65~70, 72, 76~78, 80, 81, 83, 86, 97, 100, 106, 108, 110, 118, 129~131, 134, 141, 148, 160, 162, 163, 167, 168, 172, 174, 190, 192, 203~205, 207, 209, 211~215, 231, 236, 238, 241~245, 249, 253, 256, 261 を除く全域	232.73	主伐林齢： 標準伐期齢 +10年以上  皆伐面積： 20ha以下
		41	6, 14, 16 を除く全域	23.00	
		42	全域	29.80	
		43	10, 11, 14 を除く全域	106.92	
		44	12, 15, 17, 18, 25~30, 33, 35, 41~46, 48, 58~60, 62, 90, 99, 108 を除く全域	183.16	
		45	27, 28, 30~32 を除く全域	31.60	
		46	全域	64.77	
		47	全域	83.10	
	55	1~7 を除く全域	5.80		
	伐採面積の規模の縮小を行うべき森林	19	1~3, 16~18, 43, 45~47, 87~89, 98~101, 109~111, 113~114, 116, 123	33.80	主伐林齢： 標準伐期齢 +10年以上  皆伐面積： 10ha以下
		21	20, 24	19.76	
		22	10, 11, 14, 154, 155	20.16	
		40	78, 80, 212~213, 215	12.20	
		41	6, 14, 16	2.56	
	55	1~7	70.20		
森林の有する土地に関する災害の防止機能、土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林伐期の延長を推進すべき森林	伐期の延長を推進すべき森林	3	5, 111	1.08	主伐林齢： 注1の表による  皆伐面積： 20ha以下
		4	18~27, 52, 53, 98	14.80	
		5	3~9, 12, 14, 15, 24~27, 29~31, 34, 35, 37~42, 44, 45, 52, 69~72, 74~79, 87, 89, 91, 92, 106~108	57.80	
		6	3, 20	15.40	
		7	1, 206, 305, 370	4.28	
		9	1, 2	4.00	
		10	2, 32, 79~83, 88, 93, 130~132, 138, 160, 164, 193, 199~204, 207, 214, 215	14.84	
		11	112	0.08	
		14	1, 2, 12, 18, 20, 22	24.36	
		15	1, 11, 15, 16, 62, 68, 85	10.95	
		16	10, 13~16, 19, 25~28, 30, 32~34, 43, 48, 49, 51~54, 57~61, 64~68, 71~73, 77, 78, 81, 82, 86, 87, 96, 97, 103	58.22	
		17	3, 4, 35, 40, 43~45	4.61	
		18	9, 33, 57, 74~76, 107, 172	18.24	
		19	33, 35, 36, 50~57, 59, 62~65, 70~74, 77~79, 82~88, 93, 94, 101, 128	21.48	
21	22, 100	6.48			
23	1, 6, 8	38.28			

森林の有する土地に関する災害の防止機能、土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林伐期の延長を推進すべき森林	伐期の延長を推進すべき森林	24	86	1.60	伐林齢： 注1の表による  皆伐面積： 20ha以下		
		27	35,43,49,51~53	3.24			
		32	10,14~16,21,24~27,29~31,36,48,49,68,76,92~94,105,110	11.76			
		34	95,96,102	1.56			
		36	16~20,22,23,25,66~70,73,74,77,99,100,126,132,133,141~146,148,152	17.92			
		38	14,53,58,59,61,181	11.24			
		39	4,5,7~9,11,12,25~27,41,43,48	69.24			
		40	3,10,13,16,21,22,28~35,38~43,45,47,48,52~55,57~60,62,63,65~70,72,76~78,81,83,86,97,100,106,108,110,118,129~131,134,141,148,160,162,163,167,168,172,174,190,192,203~205,207,209,211~214,231,236,238,241~245,249,253,256,261	126.72			
		43	10,11,14	4.80			
		44	12,15,17,18,25,26,28~30,33,35,42~46,48,58~60,62,90,99,108	52.56			
		45	27,28,30~32	11.48			
		49	26	1.84			
		複層林施業を推進すべき森林	53	4,193		0.83	主伐林齢： 標準伐期齢以上 伐採率：70%以下 その他： 標準伐期齢時の立木材積の1/2以上を維持する
			54	全域		23.23	
44	27,41		11.84				

注1 長伐期施業を推進すべき森林における主伐林齢

林種	樹種	主伐可能な林齢
人工林	カラマツ（グイマツとの交配種を含む）	50年以上
	トドマツ	80年以上
	エゾマツ・アカエゾマツ	100年以上
	その他針葉樹	65年以上
	カンバ・ドロノキ・ハンノキ（天然林を含む）	50年以上
	その他広葉樹	65年以上
天然林	主として天然下種によって生立する針葉樹	100年以上
	主として天然下種によって生立する広葉樹	130年以上

別表 4

対象鳥獣の種類	森林の区域	面積 (h a)
エゾシカ	2 林班から 5 林班 7 林班から 12 林班 15 林班 34 林班	2,103

参考資料

計画期間内において間伐を実施する必要があると認められる森林の所在

樹種	標準伐期齢	森林の所在	
		林班	小班
カラマツ	未満	1	31, 45, 75
		2	10, 19, 80, 82
		3	36, 115, 116
		4	78, 104
		7	13, 269, 270, 382
		8	16, 37~39
		9	57, 68, 100, 143
		10	36, 48, 51, 52, 98, 127, 135, 221~223, 225
		11	8, 20, 41, 67, 72, 73, 75, 86, 97, 119, 130
		12	1, 12, 149, 157
		13	19, 37, 52
		15	84
		16	48, 99, 105
		17	18, 58
		18	37, 65
		19	120
		22	105
		24	53
		26	27, 59
		27	55
		30	31
		31	81, 115
		32	17, 71, 84
		34	107, 142, 144, 168, 213, 256~258, 261, 262, 265~267
		35	72
		37	61, 70
		38	97
		39	31
		40	2, 6, 26, 95, 204, 207, 260, 262, 265
	43	17	
	44	132, 133	
	47	59	
	48	1, 11, 77, 79	
	49	85~89	
	52	10, 27	
53	15, 161		
	以上	1	65
		2	1, 5, 12, 15, 36, 40, 81
		3	4, 38, 54, 60, 110
		4	28, 39, 45, 47, 54, , 55, 57, 68, 73, 86
		5	18, 19, 31, 45, 51, 52, 71
		6	6, 29, 39, 47, 48

カラマツ	以上	7	4, 6, 7, 10, 15~18, 22~25, 30, 40~42, 45, 47, 49, 65, 74, 77, 83~85, 87, 89, 90, 106, 168, 170, 179, 184, 201, 207, 216~221, 223, 229~231, 236, 241, 242, 244, 246, 248, 258, 264, 266, 267, 272, 275, 279, 285, 289, 301, 303, 307, 311, 312, 342~344, 380, 381, 384, 385
		8	1, 10, 19, 24, 31, 121~124, 227
		9	14, 21, 40, 41, 55, 58, 62, 92, 93, 138~141
		10	2, 3, 9, 12, 13, 28, 35, 39, 43, 44, 59, 77, 84, 88, 144~147, 150, 159, 166, 168, 199, 203, 211~213, 217
		11	13, 15, 17, 25, 31, 40, 52, 71, 124
		12	35, 38, 39, 80, 90, 91, 108~110, 133, 134, 136, 145
		13	8, 18, 20, 22, 24, 36, 43
		15	9, 35, 40, 41, 82, 83
		16	2, 4, 19, 44, 94, 103
		17	2, 8, 10, 12, 24, 40, 61
		18	2, 4, 5, 8, 11, 17, 18, 29, 30, 36, 73, 107, 119, 127, 185, 189, 191, 192, 194, 196, 201
		19	69, 70, 72, 76~78, 91, 106
		20	76
		22	17, 23, 119, 191, 192
		24	16, 28, 29, 32, 39, 43, 46, 50, 79, 82, 95
		25	59
		26	55, 57
		27	14, 47, 54
		29	8, 11
		31	5, 6, 8, 52, 61, 64, 73, 83, 86, 94, 108, 110, 113, 116, 131, 132, 149, 150
		32	8, 9, 11, 43, 51, 62, 97
		33	14, 63
		34	4, 59, 62, 70, 99, 108, 120, 128, 147, 159, 173, 175, 192~196, 198, 211, 249, 252, 253, 273, 274
		35	10, 17, 19, 25, 27, 28, 31, 36, 37, 83, 105
		36	21, 29, 36, 37, 39, 41, 56, 64, 75, 98, 110, 127, 145
		37	1, 3, 4, 14, 21, 34, 71, 81, 84, 85, 87, 94~96, 109, 113, 121, 125, 132, 135, 136, 148, 153
		38	5, 7, 11, 18, 71, 75, 79, 81, 107, 142
		40	3, 33, 93, 132, 156, 167, 171, 172, 191, 201, 235
		44	130
		45	4, 10, 13
		46	72
		49	13, 30, 36, 38
		50	1, 2, 16, 17, 193
52	2, 8, 130		
53	45, 195		

樹種	標準伐期齡	森林の所在	
		林班	小班
トドマツ	未満	1	6
		2	61
		4	36
		5	69, 74~76, 106
		6	12, 18, 23, 28, 30, 35, 36, 38, 40~43
		7	70, 76, 88, 99, 107, 134, 173, 185, 195, 196, 224, 228, 232~235, 251, 274, 278, 290, 374, 383
		8	2, 34
		9	4, 8, 52, 90
		10	34, 102, 103, 110
		11	21, 62, 123
		12	54
		13	5, 9, 10, 23, 40, 42
		14	1, 2, 4
		15	2, 36
		16	6, 7, 9, 11, 31, 33, 34, 57, 73
		17	4, 35, 41
		18	6, 9, 34, 144, 147, 179, 180~182, 214, 218, 219
		19	47, 48, 82, 83, 108~116, 118, 121
		20	47, 54
		21	20, 24, 37, 56, 59~66
		22	7, 62, 72, 80, 148
		23	6, 9, 12, 14
		24	11, 27, 60, 115
		25	45
		26	51
		27	3, 22
		29	17, 28, 29
		30	17, 18
		31	22, 39, 104~106, 120, 146
		32	73, 83
		33	54, 101
34	26, 96, 105, 140, 151, 160, 176, 190, 191, 200, 202, 203, 221, 241		
35	11, 26, 58~60, 64, 65, 78~80, 84, 86~100, 180		
36	10, 58, 133, 143		
37	86		
38	62, 147, 178		
40	4, 10, 75, 80, 118, 120, 148, 240, 241, 259, 266		
41	25		
44	20, 27, 85, 131		
45	1		
47	38		
48	9, 52, 76		
49	7, 8, 10~12, 18, 22, 33, 42, 46, 47, 68, 72, 84		
50	7~11, 43, 172, 179		
51	25		

樹種	標準伐期齡	森林の所在	
		林班	小班
トドマツ	未満	52	14, 16~18, 62, 101, 104, 109, 110, 113
	以上	なし	—
アカエゾマツ	未満	1	4, 5
		5	89
		7	259
		18	230
		19	139~141
		24	78, 116
		44	21
	以上	なし	—

